

第8期朝来市行財政改革推進委員会 第6回会議 会議録

- 開催日時 令和8年4月23日(木) 13時30分～15時30分
- 開催場所 朝来市役所本庁舎4階 401会議室
- 出席者の氏名

	出席者	欠席者
委員	足立 崇 宏	片岡 謙太郎
	小田 正 儀	中島 しのぶ
	北見 龍 彦	山下 太 一
	倉田 良 樹	
	小坂 祐 司	
	下口 光 子	
	中尾 一 平	
アドバイザー	細川 甚 孝	
事務局 企画総務部 総合政策課	企画総務部長 笠垣 和 幸	
	企画総務部次長兼 総合政策課長 和田 幸 司	
	総合政策課副課長 松本 健 作	
	総合政策課副課長 小山 修 平	
	総合政策課係長 小山 亮 介	
	総合政策課主事 鴻村 李	

- 傍聴者 なし

会議

1 開会

第8期朝来市行財政改革推進委員会の第6回会議を開催します。  
 本日の会議内容は、第5次朝来市行財政改革大綱策定に向けた審議です。  
 よろしくお願ひいたします。

2 会長挨拶

足元の悪い中、御参集いただき感謝申し上げます。令和8年度最初の会議ということで、新たな体制となったこともあり、気を引き締め審議に臨みたいと思う。本日の重要な議題として第5次行財政改革大綱(案)の方向性や基本方針に関する審議がある。よろしくお願ひ申し上げます。

### 3 審議

#### (1) 第5次行財政改革大綱(案)の方向性について

大綱策定業務支援アドバイザー 細川 氏から説明

**委員** 実績効果額の数字だけでは、予算全体の規模との比較が難しくわかりにくい。大綱は市民に周知する必要もあるため、予算全体の規模と比較し、わかりやすく示す必要がある。

**事務局** 御指摘いただいたとおりである。今回においては、令和8年度の予算の規模を知っていただくため、別途資料(朝来市広報4月号6ページ「令和8年度予算の概要」)を提示する。

**委員** 長期的な財政シミュレーションについて、委員会にも示してほしい。  
**アドバイザー** 別途資料(R7 財政収支見通し)を提示する。「R7 財政収支見通し」では令和19年度までを見通している。人件費や物件費のさらなる上昇を見据え、その影響をいかに抑えていくか焦点となる。

**委員** 公共施設の修繕コストに関し、老朽化への対応責任や、地方独立行政法人への委託を含めた施設管理体制について確認したい。

**アドバイザー** 朝来市では公共施設長寿命化計画に沿って、「使われない施設」については、点検に基づき廃止を含めた検討を行っている。  
一方で、施設数の削減に取り組みつつ、将来必要となる修繕費については計画的に積み立てていく必要がある。

#### (2) 第5次行財政改革大綱(案)の基本方針について

事務局から説明

**委員** 第5次大綱の体系図において、新設項目「広域連携」の意味を確認したい。市における広域連携については、既存の取組もあると思うが、どう整理されているか。

**事務局** 既存の広域連携については、既に実施している消防やゴミ処理等を指し、新規の広域連携とは、広域連携のさらなる可能性を模索する意味合いが強い。

**委員** DX推進について、高齢者からはサービスが低下したと感じ取られやすい取組である。デジタルに不慣れな層への配慮や、サービス向上が実感できる具体的な取り組みが不可欠ではないか。

**事務局** デジタルデバインド対策として、昨年度からスマホ教室やスマホの相談対応を行っており、今年度も市単独事業として継続する。

また、行政手続きのキャッシュレス化や申請書作成の簡素化(一度の記入で他書類へ転記される仕組み)等は今後も継続して取り組むこととしており、高齢者を含む市民全体の利便性向上を図っていく。

**委員** 人材育成や組織力の強化においては、内部の育成に留まらず、民間のアイデアや活力を積極的に取り入れる視点を持つべきではないか。

**事務局** 御指摘いただいた視点は、第5次における基本方針の一つ、「多様な主体との連携・協働」の視点からも重要であると考えます。人材育成や組織力強化の項目についても、連携を検討したい。

**委員** 公共施設の再配置計画は市民に分かりにくい面がある。事業の全体像や行政コストへの影響をよりわかりやすく示すべき。

また、削減スピードが遅れないよう、方針を明確にする必要があるのではないかと。

**事務局** 昨年度、公共施設マネジメントの大枠ともいえる「公共施設等総合管理計画」を策定した。今年度については、各公共施設における個別の対応方針を示す、「公共施設再配置計画」の策定が控えている。秋以降、パブリックコメントや市民説明会等を予定している。

なお、「公共施設再配置計画」では、人口減少を見据えたうえで、平成28年度を起点に40年間で延床面積の4割削減を目標としている。延床面積の削減手法については解体に限らず、施設機能の複合化による面積の縮減等も検討していく。

### (3) 実施計画（案）の仕様等について

事務局から説明

**委員** 人口減少社会においては「縮小をいかに制御するか」を前提とした考え方で進めていくことも検討すべきではないか。成果の評価については、単にプラスの成果を強調するのではなく、「努力したことで（減少幅が）これくらいに留まった」という抑制効果を適切に評価し、市民へ見せる仕組みが必要ではないか。

**事務局** 総合計画における人口指標はその考え方に基づいている。現実的な指標を目標として掲げ、それに対し減少をどう抑制できたかを目標として設定している。

**委員** 実施計画上での「課題」と「課題への対応」は、計画策定時にあらかじめ設定されているものか。年度ごとの振り返りとして記載されているのであれば、前年度の反省を次年度にどう活かすかといった繋がりが見える形にすべき。

**事務局** 第4次大綱に基づく実施計画においては、策定時に「課題」を設定しているわけではない。年度ごとの進捗確認において、各課が「取り組み結果」「実施指標」「課題・対応策」を報告する仕組みである。委員の言うように、年度をまたいだ改善のプロセスがより明確に伝わるよう、仕様を改善したい。

**委員** この計画の実施結果は、外部（県や国の補助金申請等）にどのように活用されるのか。また、見栄えの良い指標を追う必要はあるのか。

**事務局** 本計画はあくまで内部的な行政経営計画であり、外部評価に直結するものではない。形式的な目標設定よりも、行政の効率化に向けた実効性を重視する。

**アドバイザー** 「賢く縮む」ためにどうしたらよいか、といった視点が必要であるように思う。また、実施計画に設定する具体的な指標については、今後の作業過程において、目標値の妥当性や達成の可能性等一つひとつ精査していく必要がある。

(4) 会長コメント

今回の講師の説明により、第5次行財政改革大綱の方向性に関する理解が進んだように思う。また委員からの意見も大変有意義なものが多かったので、大綱や実施計画に反映させていただきたい。

**4 その他**

(1) 第5回会議録(3月24日開催)の確定

修正連絡なしのため、第5回会議録を確定する。

(2) 次回会議について

第7回会議：5月29日(金)13時30分～15時30分

**5 閉会**

**副会長** ご苦労様でした。本日の説明や審議により、第5次大綱にむけた考え方や、行財政改革に対する私自身の理解も深まった。我々の審議によって第5次行財政改革大綱がさらに進化したものとなるよう、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。本日はありがとうございました。